



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社Kaizen Platform 上場取引所 東  
 コード番号 4170 URL <https://kaizenplatform.com/ir/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員CEO (氏名) 須藤 憲司  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 朝井 秀尚 TEL 03-5909-1151  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	1,082	45.3	△33	-	△43	-	△77	-
2022年12月期第1四半期	744	30.3	44	△29.8	30	399.1	17	160.0

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 △65百万円 (-%) 2022年12月期第1四半期 82百万円 (16.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	△4.64	-
2022年12月期第1四半期	1.09	1.04

(注) 2023年12月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	5,249	3,222	59.4
2022年12月期	5,236	3,280	60.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 3,118百万円 2022年12月期 3,182百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年12月期	-	-	-	-	-
2023年12月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,500	68.7	200	26.5	30	-	3	-	0	-	0.00

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額+株式報酬費用

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 -社、除外 -社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	16,815,679株	2022年12月期	16,700,429株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	44株	2022年12月期	44株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	16,751,553株	2022年12月期 1 Q	16,414,781株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、ウィズコロナの下で各種政策の効果もあって緩やかに持ち直しているものの、物価の上昇や金融資本市場の変動等による下振れリスクに十分注意する必要がある状況となっております。

当社グループの事業は必ずしも対面によることが必要とされるものではなく、オンラインによる非対面でのコミュニケーションによってもクライアントへのサービスの提供が成立することから、行動制限下での事業への直接的な影響は限定的でありました。また、行動制限が緩和される中で当社グループシナジーの追及や商品ラインナップの強化、クライアントポートフォリオの見直し、提供ソリューションの拡充とともに、2022年10月に子会社化した(株)ハイウェルのSES事業(システムエンジニアリングサービス)の売上が寄与し当社グループ全体の連結売上高は成長基調を維持しております。

国内コンサルティングサービス市場は、2025年には1兆2,551億円に達すると予測され(注1)、インターネット広告の市場規模は3兆912億円となり、「新聞広告費」「雑誌広告費」「ラジオ広告費」「テレビメディア広告費」を合計した「マスコミ四媒体広告費」の2兆3,985億円をインターネット広告費が上回り(注2)、5G携帯端末の契約台数は6,316万台に達し(注3)、5G化に伴って動画広告は2025年には1兆円規模に達すると見込まれております(注4)。マーケティング領域でのデジタル化はさらに進んでいくと想定される中、当社グループの事業機会はさらに拡大していくものと考えています。

また、日本国内のDX市場は2030年には6兆5,195億円の規模にまで成長すると予測されており(注5)、DXの市場拡大は当社グループのさらなる展開につながっていくものと考えております。

このような経営環境の中、当社グループはグロスセグメント及びトランスフォーメーションセグメントの既存顧客の契約継続及び新規顧客の獲得に注力するとともに、新サービスの投入、プロダクトの開発・改善、顧客数増加に向けたマーケティングなどの先行投資を行ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,082,449千円(前年同期比45.3%増)、営業損失33,320千円(前年同期は営業利益44,006千円)、経常損失43,179千円(前年同期は経常利益30,997千円)、親会社株主に帰属する四半期純損失77,756千円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益17,864千円)となりました。

出典 (注1) International Data Corporation(IDC)「国内ビジネスコンサルティング市場予測、2021年～2025年」

(注2) 電通「2022年 日本の広告費」

(注3) 総務省「電気通信サービスの契約数及びシェアに関する四半期データの公表(令和4年度第3四半期(12月末))」

(注4) (株)サイバーエージェント、(株)デジタルインファクト「2022年 国内動画広告の市場調査」

(注5) 富士キメラ総研「2023 デジタルトランスフォーメーション市場の将来展望」

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。詳細は「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」をご参照ください。

#### ①グロスセグメント

グロスセグメントは、新型コロナウイルス感染症の影響拡大・長期化によりリモートワークの導入など企業のデジタル活用が進む中、これまでのWebサイト改善や動画制作だけではなく、子会社である(株)ディーゼロによるWebサイト制作を入口として、CRMの改善など顧客の課題に合わせたトータル提案に注力した結果、大手顧客を中心に受注を獲得いたしました。動画制作を中心とした集客領域においてクライアントポートフォリオの見直し等戦略転換に想定以上の時間を要し、業績に影響を及ぼす結果となりました。

この結果、売上高は598,770千円(前年同期比13.3%減)、セグメント損失は45,535千円(前年同期はセグメント利益23,690千円)となりました。

#### ②トランスフォーメーションセグメント

トランスフォーメーションセグメントは、DXに関するコンサルティングやワークショップ及び2022年10月に子会社化した(株)ハイウェルの行う事業により売上が構成されております。なお、(株)ハイウェルが当第1四半期連結会計期間より業績が連結されたことにより、売上高は大幅に伸長しております。

この結果、売上高は483,679千円(前年同期比792.6%増)、セグメント利益は12,214千円(前年同期比39.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、5,249,696千円(前連結会計年度末比13,184千円増加)となりました。これは主に、現金及び預金が60,862千円増加した一方で、関係会社株式が23,976千円、のれんが17,810千円、ソフトウェアが16,007千円減少したことによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、2,026,789千円(前連結会計年度末比71,035千円増加)となりました。これは主に、買掛金が78,847千円増加したことによります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、3,222,906千円(前連結会計年度末比57,851千円減少)となりました。これは主に、利益剰余金が77,756千円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、2023年2月14日の開示時点から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,337,836	3,398,698
受取手形及び売掛金	598,339	625,650
その他	100,082	96,960
流動資産合計	4,036,258	4,121,310
固定資産		
有形固定資産	22,472	21,586
無形固定資産		
ソフトウェア	270,829	254,821
ソフトウェア仮勘定	43,519	44,338
のれん	677,380	659,570
その他	188	162
無形固定資産合計	991,918	958,892
投資その他の資産		
投資有価証券	61,757	56,046
関係会社株式	23,976	-
繰延税金資産	42,561	28,733
その他	57,566	63,125
投資その他の資産合計	185,861	147,905
固定資産合計	1,200,253	1,128,385
資産合計	5,236,512	5,249,696
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	364,978	443,826
短期借入金	283,960	274,900
1年内返済予定の長期借入金	467,492	462,369
未払法人税等	62,714	39,252
その他	190,305	209,292
流動負債合計	1,369,450	1,429,640
固定負債		
長期借入金	586,303	597,149
固定負債合計	586,303	597,149
負債合計	1,955,753	2,026,789
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,755,623	1,759,600
資本剰余金	3,774,733	3,778,710
利益剰余金	△2,511,082	△2,588,839
自己株式	△25	△25
株主資本合計	3,019,248	2,949,445
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	162,962	169,497
その他の包括利益累計額合計	162,962	169,497
新株予約権	390	390
非支配株主持分	98,156	103,572
純資産合計	3,280,758	3,222,906
負債純資産合計	5,236,512	5,249,696

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	744,826	1,082,449
売上原価	433,554	769,289
売上総利益	311,272	313,160
販売費及び一般管理費	267,266	346,481
営業利益又は営業損失(△)	44,006	△33,320
営業外収益		
受取利息	53	59
為替差益	674	264
助成金収入	570	-
その他	1,215	740
営業外収益合計	2,513	1,064
営業外費用		
支払利息	2,279	3,870
持分法による投資損失	4,533	-
投資事業組合運用損	5,303	4,261
支払手数料	3,205	2,404
その他	200	386
営業外費用合計	15,521	10,923
経常利益又は経常損失(△)	30,997	△43,179
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	30,997	△43,179
法人税、住民税及び事業税	19,677	15,333
法人税等調整額	△11,431	13,827
法人税等合計	8,246	29,160
四半期純利益又は四半期純損失(△)	22,750	△72,340
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,886	5,415
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	17,864	△77,756

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	22,750	△72,340
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	59,260	6,535
その他の包括利益合計	59,260	6,535
四半期包括利益	82,011	△65,805
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	77,125	△71,221
非支配株主に係る四半期包括利益	4,886	5,415



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書 計上額(注)
	グロース	トランスフォー ーメーション	計		
売上高					
一時点で移転される財	187,740	2,040	189,780	-	189,780
一定の期間にわたり移転される財	502,898	52,148	555,046	-	555,046
顧客との契約から生じる収益	690,638	54,188	744,826	-	744,826
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	690,638	54,188	744,826	-	744,826
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	690,638	54,188	744,826	-	744,826
セグメント利益	23,690	20,316	44,006	-	44,006

(注) セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書 計上額(注)
	グロース	トランスフォー メーション	計		
売上高					
一時点で移転される財	168,376	5,810	174,187	-	174,187
一定の期間にわたり移転される財	430,393	477,868	908,262	-	908,262
顧客との契約から生じる収益	598,770	483,679	1,082,449	-	1,082,449
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	598,770	483,679	1,082,449	-	1,082,449
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	-	-	-	-
計	598,770	483,679	1,082,449	-	1,082,449
セグメント利益又は損失(△)	△45,535	12,214	△33,320	-	△33,320

(注) セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する情報

2022年10月に、(株)ハイウェルを新たに取得・子会社化し、業績管理区分の見直しにより、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しております。

従来「UX/DXソリューション」のうちWebサイト制作・改善、CRM改善及び「動画ソリューション」を「グロースセグメント」に変更し、「UX/DXソリューション」のうちDXに関するコンサルティングやワークショップ及び(株)ハイウェルの事業を「トランスフォーメーションセグメント」とし、新たに集計しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後のセグメントの区分にもとづき作成したものを開示しております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。